

分類 1-1 里山の自然との共生による自然環境の確保

里山の自然との共生を実現するため、山林や農地、地下水、生物多様性の保全に取り組み、再生可能エネルギーの普及による地球温暖化対策を進めるとともに、中井町の豊かな自然環境を後世に残すために守ります。これを通じて、ネイチャーポジティブ(自然再興)なまちづくり、里地里山の課題克服、自然体験の提供、生物多様性のまちづくりを総合的に推進します。

施策1 里山の環境の保全

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	豪雨の増加や山林所有者の高齢化などにより、適切な森林管理が難しくなっています。そのため、中井町の約34%を占める山林を正しく保護することが困難になっています。	適切な森林環境の保全を通じて、本町の貴重な資源である地下水の保全を図るとともに、水辺空間である河川や厳島湿生公園などの環境保全に努め、町民の自主的な美化活動を支援します。 また、里山の生物多様性に関する定期的な調査の実施や調査結果を活用した施策を展開していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性調査事業 ・ 地下水保全事業 ・ クリーンタウン運動事業 ・ 厳島湿生公園管理事業
②	高齢化の進展による担い手不足などにより、耕作放棄地が増加しています。そのため、適正な管理が困難となり、有害鳥獣による農地・宅地などに対する被害が発生しています。	里山の自然を象徴する農地の保全を図るため、遊休農地に対する指導や竹害対策、山林化した農地の適切な管理・指導などの対策に取り組みます。また、有害鳥獣による農地被害を防止するための対策などへの支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地対策事業 ・ 山林等保全(林業総務)事業 ・ 有害鳥獣被害対策事業

施策2 地球温暖化対策

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	地球温暖化による気温の上昇や豪雨などの異常気象が増えてきています。これらの影響は生態系や農業、また水資源にも影響を与え、町民の生活や産業活動にも関係してきます。そのため、町民や事業者、行政それぞれが対策を取る必要があります。	本町では、温室効果ガスの削減に向けて地域や家庭・事業所に省エネルギーの重要性を広める取り組みを進めます。また、災害時に自立して電力を確保できる家庭用太陽光発電の普及を支援し、環境に配慮した生活を推進します。	・ 再エネ普及促進事業
②	地球温暖化対策を進めるためには、事業者や行政だけでなく、町民一人ひとりが持続可能な生活を心がけ、環境に優しい行動を実践することが大切です。	環境対策についての理解を深めることで、個々の行動を変えることを目指すとともに、環境学習や環境展などを行い、環境問題への啓発活動を支援するとともに、環境学習を通じて、環境活動を推進する団体の育成にも力を入れます。 また、町の事業者として、温暖化対策に取り組めます。	・ 環境基本計画の推進事業 ・ 地球温暖化対策実行計画推進事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、日常生活での省エネルギーや里山の自然環境を守ることの重要性を理解してもらうことが望めます。
- 事業者は、自社の省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入、従業員への環境教育などを実施することが望めます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町の文化や自然、暮らしに愛着を感じる	3.59	3.78
施策指標	水と緑などの豊かな自然景観・資源等、環境保護に取り組む	3.34	3.71
	温室効果ガスの削減など、脱炭素に向けた環境負荷軽減に取り組む	2.68	2.82

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町環境基本計画
- 中井町地球温暖化対策実行計画
- 中井町緑の基本計画
- 中井町公園施設長寿命化計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

分類 1-2 街並みの整備で安全・快適な暮らし

子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、防犯対策の更なる充実など、地域全体での見守り体制の充実を図ります。

施策1 防犯体制・交通安全の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	町内では、年間約50件の犯罪が発生しており、特に窃盗や振り込め詐欺が目立っています。また、全国的には、匿名の犯罪集団によるインターネットを使った「闇バイト」と呼ばれる犯罪が急増しています。	地域の防犯意識を高めるために、警察や防犯団体と協力し、町民による自主防犯団体への支援を行とともに、防犯カメラや防犯灯の整備を進め、地域の防犯体制を強化します。また、昨今急増している、インターネット関連の詐欺などの被害防止のため消費者対策を実施します。	<ul style="list-style-type: none">防犯対策事業防犯灯整備事業消費者行政事業
②	神奈川県全体では、警察や自治体、関係機関等の交通安全活動の影響により事故件数は減少しています。しかし、町内で年間約30件の交通事故が発生しており、近年、増加傾向となっているため、引き続き交通安全対策が必要です。	さらなる高齢化が進む中、子どもから高齢者まで安心して暮らせるように、交通安全教育を充実させます。具体的には、交通指導隊員による街頭指導や、県警と協力した交通安全キャンペーンを実施し、交通マナーの向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none">交通安全推進事業交通指導隊員運営事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、詐欺などの犯罪手口を理解し、身近な人と相談できる関係を築くことが期待されます。
- 事業者は、事業所内の防犯対策はもとより、地域の防犯に協力することや、従業員に防犯や交通安全についての教育を実施することが求められます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	住まいは快適で、安全・安心であると 感じている	3.85	4.05
施策指標	防犯対策を整え、安心して暮らすこ とができる環境を整備する	2.86	2.90

出典：中井町民Well-Being意識調査

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創
生

分類 1-3 防災強化を通じた安全・安心なまちづくり

近年、地震や豪雨災害が多発しており、これらの自然災害に対して、地域でお互いを支え合うための防災訓練や地域ボランティアの育成、消防や防災体制の強化を行い、安全・安心なまちづくりを進めます。

また、併せて災害対応及び受援体制の整備等の危機管理体制の強化を図ります。

施策1 防災対策・消防体制の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町は山間地が多く、地震や豪雨等による風水害や土砂災害のリスクが高まっています。そのため、災害時の対策や防災体制を強化することが必要です。災害が発生した際には、特に避難行動要支援者の避難対策が重要で、地域の協力が求められます。一人ひとりが役割を担い、自主的な防災機能を強化することが大切です。	大雨や地震によって生じる急傾斜地の崩壊対策は、県と協議しながら適切に進めます。 また、災害発生前後への対策として、必要な情報を得るための防災無線の維持管理や情報伝達の強化、災害時避難行動要支援者リストの更新及び支援体制の構築、自助・共助を促すためのハザードマップの整備・配布による防災意識の向上、避難所運営等へ対応できる団体育成、防災訓練・自主防災組織への支援を行います。 災害対策本部設置エリアとなる役場周辺についても、防災設備の設置や機能強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対策事業 ・ 急傾斜地崩壊防止事業 ・ 生涯学習施設建設事業 ・ 役場周辺拠点整備事業
②	近年、町内での火災件数は約10件と増加傾向にあり、山林火災が発生した場合、大きな影響を及ぼす可能性があります。消防団は地域の防災の核となる重要な組織ですが、人口減少に伴い団員の確保が難しくなっています。	消防救急体制を強化するために、小田原市への消防事務の委託を通じて常備消防の充実を図ります。また、消防団活動の重要性を町民に理解してもらい、団員の確保や必要な資機材の充実に努めます。さらに、消防団員の減少に備え、町民一人ひとりの活動が大切になるため、自助・共助を促進する自主防災活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常備消防運営事業 ・ 消防団運営事業 ・ 消防団施設管理事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、災害に対する自助のための最低限の防災用品の備えや避難場所の確認、家族や近隣住民との災害時の対応に関する日常からの相談や訓練などを行うことが望まれます。
- 事業者は、従業員に対する防災・消防に関する教育の実施や、災害等が発生した際の防災・消防訓練の実施による備えを行うことが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	住まいは快適で、安全・安心であると感 じている	3.85	4.05
施策指標	災害に強いまちづくりに取り組む	3.01	3.04

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町地域防災計画
- 中井町国土強靱化計画
- 中井町生涯学習施設建設基本構想
- 中井町生涯学習施設建設基本計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (3)人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- (5)広域リージョン連携